

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	入居者からの希望を引き出したり、コミュニケーションがなかなかとりにくい。	入居者の希望や要望をしっかりと聞きとれるようにする。	・飲み物や菓子類は本人の飲みたい物を選択してもらい、提供する。(菓子類はケースに入れ、本人に好きな物を提供する) ・献立作成時や買い物では、入居者に食べたい物を考えてもらったり、選んでもらう。	1ヶ月
2	39	食事を作る際、スタッフがメインになっている。	毎食1品は入居者が主体となって作るようにする。	・入居者と献立を確認し、役割を分担する。 ・調理が困難な入居者には、盛り付けを行ってもらおう。 ・エプロンや三角巾を着用してもらい、調理への意識を持ってもらう。	1ヶ月
3	48	入居者の外出が減ってきている。	食材の買い物は入居者と共に出掛ける。	・買い物の際には入居者に必ず声掛けをし、外出することを積極的に勧める。 ・外出レクリエーションの企画。(季節の行事に合わせて、外出の計画を立てる)	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。